

【Fortis Flt. Lt. Rajan Dhall Hospital (Vasant Kunj)】

(平成 25 年 2 月 22 日訪問)



インド国内の 75 箇所の医療施設（合計 12,000 床）を中心に、スリランカやシンガポールなどアジアの近隣国にも医療施設を展開するインドの国際的医療グループである **Fortis Healthcare Limited** のニューデリーの総合病院。ニューデリー南部に位置し、日本人学校が非常に近く、日本人の多く住む **Vasant Vihar** 地区にも比較的近いことから、日本人も利用しています。2006 年に開業し、病床数は 200 床です。

建物は近代的にきれいに管理されています。外来は正面入り口から地下におりた地下 1 階フロアになります。診療科は、一般内科、腎臓内科、整形外科、循環器科、呼吸器・胸部外科、糖尿病科、リウマチ科、神経科、耳鼻科、眼科、集中治療科、小児科、精神科、歯科、麻酔科、腫瘍外科、消化器・肝臓病科、形成・美容外科、低侵襲手術科、放射線科などがあります。地下には、ほかに CT スキャン、超音波、マンモグラフィ、骨密度測定装置、などがありますが、MRI はありません（設置スペースがもう確保できないとのこと）。血液銀行の輸血用血液は、HIV、B 型肝炎、C 型肝炎、梅毒、マラリアのスクリーニングを実施しているそうです。

1 階はエントランス、比較的広い人工透析施設が 2 か所あり、透析装置は合計で 17 台あります。腎臓移植も週に 30 例ほどが行われているようで、病院として腎臓病診療に力を入れている印象を受けました。1 階には救急外来があり、昼間は指導医 1 人とレジデント

医師2名、夜間は指導医1人とレジデント医師1名の態勢をとっています。救急車は3台所有し、他にアウトソーシングの救急車と契約しているとのこと。狂犬病用ヒト免疫グロブリンは、インド製の Berirab P を使用しているとのこと。

インフルエンザ診療については、指定医療機関ではないので、患者が受診した場合には指定医療機関を紹介するか、重症の場合は1床ある陰圧室にひとまず収容し、転院先を探すとのことで、外来薬局にはオセタミビルなどの抗インフルエンザウイルス薬はありませんでした。

2階と3階は入院病床で、3階にはレジデンシャルスイート1床（室料 Rs.75.000/日）、デラックススイート2床（室料 Rs.40.000/日）、ノーマルスイート4床（室料 Rs.25.000/日）などの高額個室があり、高額にもかかわらずこの日スイートは満床でした。他に、一般個室（室料 Rs.12.000/日）、二人部屋（室料 Rs.5,800/日）、11床の大部屋（室料 Rs.3,500/日）があります。

3階は手術室と各種集中治療室（整形術後 ICU、腎移植患者用 ICU、CCU、小児 ICU、循環器 ICU）があります。

診療時間:月曜日～土曜日（医師により診察曜日、時間は異なります）

（情報はすべて訪問時現在のものです）

（病院住所） Sector B Pocke 1, Aruna Asaf Ali Marg, Vasant Kunj, New Delhi 110 070

（電話） +91-11-4277-6222

（24時間救急電話） +91-11-4277-6444、105010

（FAX） +91-11-4277-6221

（ウェブページ）

<http://www.fortishealthcare.com/india/VasantKunj/>